

誰もが健康で学び合い、生涯活躍するまちおかやまの推進

岡山県岡山市（2018年度選定）

1. 地域の特徴と課題及び目標

岡山市は、病院や医療従事者などの医療資源を豊富に有しており、特に女性の平均寿命が長い長寿のまちである。しかし、全国平均を下回る健康寿命の延伸が課題となっている。そこで、市民が自らの健康状態を適切に把握し、健康増進に積極的に取り組むことを促すとともに、健康になった市民が生きがいをもって活躍できる場を創出するなど、「住みやすさ」に磨きをかけ、将来にわたって住み続けたいと思えるまちの実現を目指し、健康で生涯活躍できるまちづくりに取り組んでいく。

2. 関連するゴール



3. 取組の概要 (三側面をつなぐ統合的取組概要を含む)

岡山市の特徴である豊富な医療資源を活用し、健康の見える化や、生涯活躍就労支援を柱とする「SDGs健康好循環プロジェクト」を引き続き推進する。
また、岡山市が2005年から取り組んできた持続可能な地域づくりを目指すESD活動の成果を活かし、SDGsの普及啓発と理解促進を図るとともに、様々なステークホルダーの主体的な活動を活性化させ、SDGs達成に向けた人材の育成に取り組むことで、地域の特性を踏まえた持続可能なまちづくりを推進する。

4. 自治体SDGs推進等に向けた取組

- ◆SDGs健康好循環プロジェクト
《健康見える化事業》…特定健診の結果や日々の生活習慣などからAIが将来の健康のリスクを可視化し、アプリによる一人ひとりに適した生活習慣改善プログラムを実施。
《健康ポイント事業》…スマホアプリを活用し、毎日の利用や健康活動でポイントをためる、手軽で楽しく続けられる健康ポイント事業を推進。
《生涯活躍就労支援事業》…課題を抱えている高齢者等を就労等に結び付け、地場企業の担い手不足を解消する。
- ◆普及啓発活動の推進
・市民へのSDGsの理解促進を図るイベントの開催。
・様々なステークホルダーの取組を共有するフォーラム（ESDに関するフォーラム、海ゴミ問題についてのフォーラム）の開催。

5. 取組推進の工夫

健康好循環プロジェクトの事業実施にあたり、一部の事業についてはPFS（成果連動型）手法を採用。
また、ESDの取組で構築したネットワークを活かし、産官学民と協働でSDGs達成に向けた様々な普及啓発事業を実施。

6. 取組成果

- ◆SDGs健康好循環プロジェクト
《健康見える化事業》…国保被保険者の健康リスク者を対象にした、アプリによる生活習慣改善プログラムを2019年11月に開始し、2022年度に終了。2023年度は参加者へのアンケートによる事業効果の分析を実施した。
《健康ポイント事業》…運動、栄養・食生活、社会参加の3本柱についての健康的な取組にインセンティブを付与し、楽しみながら自然と健康になれる健康ポイント事業「OKAYAMAハレ活プロジェクト」を2023年8月から開始。2024年3月末時点で参加者は12,906人。2023年度の成果指標達成状況は、4つの成果指標のうち3つについて、目標を達成できた。
《生涯活躍就労支援事業》…総合受付として「生涯かつやく支援センター」を設置し、社会福祉協議会と民間就労支援機関が連携し、高齢者や複合的課題を抱えた人等へのマッチング支援や定着支援、企業に対する高齢者雇用への理解促進を行っている。
→KPI「生涯かつやく支援センターが就労に結び付けた人数」は511人となり、目標到達に向けて順調に推移している。

7. 今後の展開策

《健康見える化事業》…2023年度に実施した分析結果を踏まえ、今後は全市民を対象とした事業に反映していく。
《健康ポイント事業》…PFS（成果連動型委託契約）の手法で、市民が無理なく健康につながる行動に取り組める環境づくりを推進し、楽しみながら健康的な生活の習慣化を促進していく。
《生涯活躍就労支援事業》…効果的なPR活動等により意欲ある高齢者の登録を促進し、支援関係機関と連携しながら、高齢者や複合的課題を抱えた人等のニーズに合わせた就労等の支援を今後も行っていく。

8. 他地域への展開状況（普及効果）

- ・アジア太平洋RCE会議、国内RCE実務者会議などにおける本市の取組発表 6件
- ・市外の自治体議員、大学などによるSDGs関連の本市視察受入…5件
- ・RCEやユネスコ関連組織などが主催する会議に参加… 17件
- ・岡山市が連携中枢都市圏に関する連携協約を結んだ7市5町とともに、職員、市民を対象にしたESD研修を実施…3件

SDGs未来都市進捗状況結果報告シート

2018年度選定

岡山県岡山市

2024年9月

SDGs未来都市計画名

岡山市SDGs未来都市計画（2021～2023）

岡山県岡山市 第2期SDGs未来都市計画：計画期間2021年～2023年

(1) 2030年のあるべき姿の実現へ向けた取組の達成状況

No	指標名 ※[]内はゴール・ターゲット番号	当初値	2023年	2030年（目標値）	達成度 （%）	第3期計画（または独自計画）の KPIへの反映状況
1	市の創業支援による創業者数【8.3、9.b】	2018年 22 者	2023年 74	2025年 50 者	186%	目標が達成できている。引き続き、第3期計画下でも目標達成できるよう、取り組んでいく。
2	健康寿命【3.4、3.8】 男性	2016年男性 71.7 歳	2019年男性 72.2 歳	2025年男性 73.0 歳	38%	2030年の目標へ向けて順調に進捗しており引き続き第3期計画では、社会全体での健康づくりの支援や市民が健康づくりに主体的に取り組める環境づくりを進め、取組達成へ向け推進を図る予定。
2	健康寿命【3.4、3.8】 女性	2016年女性 74.4 歳	2019年女性 75.0 歳	2025年女性 77.0 歳	23%	2030年の目標へ向けて順調に進捗しており引き続き第3期計画では、社会全体での健康づくりの支援や市民が健康づくりに主体的に取り組める環境づくりを進め、取組達成へ向け推進を図る予定。
3	生涯かつやく支援センターが就労に結び付けた人数【8.5】	2019年 26.0 人	2023年 511 人	2025年 750 人	67%	目標到達へ向けて順調に進捗しており引き続き第3期計画進捗を確認していく。
4	温室効果ガス排出量【7.2、7.3、13.1、13.3】	2017年 6,119.0 千t-CO ₂	2023年 5241 千t-CO ₂	2030年 3,497 千t-CO ₂	33%	2030年の目標へ向けて順調に進捗しており引き続き第3期計画では、省エネルギーの推進、再生可能エネルギーの導入促進により、取組達成へ向け推進を図る予定。
5	市民1人あたりの公共交通利用回数（鉄道＋路面電車＋主要バス路線）【11.2、11.a】	2016年 80 回/年・人	2023年 74 回/年・人	2027年 100 回/年・人	74%	本指標値は、コロナの影響により当初値より低下している。公共交通の利用回数は回復傾向にあるものの、目標達成度が低く、第3期計画では岡山市地域公共交通計画（R6.2策定）に位置づけた各種施策を行い取組達成へ向け推進を図る予定。
6	岡山市ESDプロジェクト参加団体数【4.7、17.7】	2020年 317.0 団体	2023年 381 団体	2030年 430.0 団体	57%	2030年の目標へ向けて順調に進捗しており引き続き第2期計画で進捗を確認していく。

(2) 自治体SDGsの推進に資する取組の達成状況

No	取組名	指標名	当初値	2023年 実績	2023年 目標値	達成度 （%）	第3期計画（または独自計画）の KPIへの反映状況
1	産業の創出・育成・強化	市の創業支援による創業者数	2018年 22 者	2023年 74 者	2025年 50 者	186%	目標が達成できている。引き続き、第3期計画下でも目標達成できるよう、取り組んでいく。
2	移住・定住の促進	移住定住支援により移住した人数	2019年 30 人	2023年 219 人	2025年 90 人	315%	目標は達成できており、引き続き第3期計画でも更なる推進を図る予定。
3	活力ある農業の振興	新規就農者数	2019年 34 人	2023年 32 人	2025年 50 人	-13%	新規就農相談の実施等就農希望者の状況に応じた支援により取組達成へ向け推進を図る予定。
4	健康寿命の延伸に向けた健康づくり	市と連携して市民の健康づくりに取り組む企業等の数	2020年 111 社	2023年 123	2023年 120 社	133%	目標が達成できており、第3期計画からは新たな事業に引継ぎ具体的なKPIを250社に設定し、更なる推進を図る予定。

岡山県岡山市 第2期SDGs未来都市計画：計画期間2021年～2023年

5	健康寿命の延伸に向けた健康づくり	自らの健康リスクを把握している人の割合 (国保特定健診受診率)	2018年 31 %	2023年 33 %	2023年 39 %	34%	2023年目標値は平成30年度に策定した第2期データヘルス計画の目標を反映したのだが、当初に高い目標を設定したこと、新型コロナウイルスによる受診控えの影響もあり目標を達成できなかった。 そのため、第3期データヘルス計画で目標を見直したうえで、第3期計画のKPIへ反映した。 第3期計画においては、ナッジ理論を活用した受診率向上対策事業を拡充・推進していくことにより、特定健診受診率の向上に努めていく。
---	------------------	------------------------------------	------------	------------	------------	-----	--

岡山県岡山市 第2期SDGs未来都市計画：計画期間2021年～2023年

No	取組名	指標名	当初値	2023年実績	2023年目標値	達成度(%)	第3期計画（または独自計画）のKPIへの反映状況
6	生涯現役社会づくり	生涯かつやく支援センターが就労に結び付けた人数	2019年 26 人	2023年 511 人	2025 750 人	67%	順調に進捗しており引き続き第3期計画で進捗を確認していく。
7	女性の活躍・男女共同参画の推進	市内企業における管理職（課長相当職以上）に占める女性の割合	2018年 8 %	2021年 10.9 %	2024年 14 %	51%	第3期計画で進捗を確認していく。
8	再生可能エネルギーの活用と温室効果ガスの排出削減	温室効果ガス排出量	2017年 6119 千t-CO ₂	2023年 5241 千t-CO ₂	2025年 5141 千t-CO ₂	90%	2030年の目標へ向けて順調に進捗しており引き続き第3期計画で進捗を確認していく。
9	ごみの減量化とリサイクルの推進	ごみの資源化率	2019年 27.4 %	2023年 29.9 %	2025年 31.1 %	68%	令和6年3月から開始したプラスチック資源分別回収によって、資源化率の増加を図り目標値達成を目指す。
10	ごみの減量化とリサイクルの推進	市民1人1日当たりのごみ排出量	2019年 842 g	2023年 771 g	2025年 754 g	81%	順調に進捗しており引き続き第3期計画で進捗を確認していく。
11	生物多様性の保全と環境との共生	身近な生きものの里認定地区数	2019年 17 地区	2023年 27 地区	2025年 25 地区	125%	順調に進捗しており引き続き第3期計画で進捗を確認していく。
12	人と環境にやさしい交通ネットワークの構築	バス路線の主要渋滞箇所数	2019年 38 箇所	2023年 37 箇所	2028年 33 箇所	20%	引き続き第3期計画で進捗を確認し、路面電車の岡山駅乗り入れやバスの利用環境の向上等により、取組達成へ向け推進を図る。
13	E S D地域拠点におけるE S D活動の広がり	岡山E S Dプロジェクトにおける地域拠点でのワークショップ開催件数	2019年 20 件	2023年 115	2025年累計 150 件	73%	順調に進捗しており引き続き第3期計画で進捗を確認していく。

(3) 第2期SDGs未来都市計画の進捗評価結果を踏まえた総括

<ul style="list-style-type: none"> ●特筆すべき事業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・指標 (2) 3 活力ある農業の振興 ●成果 <ul style="list-style-type: none"> ・2022年は39人と増加したが、2023年はやや減少となった。 ●課題 <ul style="list-style-type: none"> ・他産業においても人材獲得競争が激化している ●今後の展望 <ul style="list-style-type: none"> ・説明会等で農業の魅力を伝えるなどし、目標値を目指す。
<ul style="list-style-type: none"> ●特筆すべき事業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・指標 (2) 6 生涯現役社会づくり ●成果 <ul style="list-style-type: none"> ・2023年実績：511人、目標達成度：67% ●課題 <ul style="list-style-type: none"> ・新規利用登録者数の伸び悩み ●今後の展望 <ul style="list-style-type: none"> ・効果的なPR活動等により意欲ある高齢者の登録を促進し、より多くの高齢者や複合的課題を抱えた人に就労や社会参加に向けた支援を行う
<ul style="list-style-type: none"> ●特筆すべき事業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・指標 (2) 9 ごみの減量化とリサイクルの推進 ●成果 <ul style="list-style-type: none"> ・2022年度は、ごみの資源化率は増加、市民1人1日当たりのごみ排出量は減少し、目標達成へ向けて良好な結果となった。 ●課題 <ul style="list-style-type: none"> ・ごみ排出量の減少等により資源化率は増加しているが、資源化物量は平成30年度より減少している。その要因としては統計対象外の民間事業者での資源化が進み、市が把握する資源化物量が減少していることが影響していると考えられる。資源化率増加のためには、市が把握していない民間事業者の資源化物回収量を把握し、適切な資源化物量を統計に反映させる必要がある。 ●今後の展望

▼ 水質改善

・令和6年3月からプラスチック資源分別回収を開始したため、資源化率の向上やごみ排出量の減少が見込まれるが、民間事業者の資源化物量については引き続き回収量を把握する方法を検討する。

● 特筆すべき事業内容

・指標 (2) 12 人と環境にやさしい交通ネットワークの構築

● 成果

・2023年実績：37箇所

● 課題

・主要渋滞箇所については、抜本的な対策が困難な箇所が多いことから対策の解消までには至っていない状況である。

● 今後の展望

・右左折レーンの増設等局所的な対策により、一定の渋滞解消効果を図る。

（4）有識者からの取組に対する評価

- ・各種取組について着実な実施を図ってきていることを評価。とりわけ市民の健康づくりに取り組む企業等の数について、着実な成果を収めており、こうした実績を踏まえ、KPIを更に高い目標値に再設定し、これまで以上の取組の進展を意欲的に進めていこうとする積極的な姿勢を高く評したい。
- ・また「6. 生涯現役社会づくり」及び「7. 市内企業における女性管理職の割合」において着実に成果を挙げてきており、今後一層の活動展開に期待している。
- ・ESDの取組については、市内における活動展開の一層の展開と共に、国内外の活動発展に大きく寄与してきた実績を踏まえ、今後とも国際的リーダーとして世界全体のESD活動ネットワークをけん引していく立場としての活躍を期待している。
- ・経済と環境の側面が依然として加わっていない。